

令和2年度 磐田市立磐田第一中学校 学校評価書

	目標	評価指標	自己評価	考察や改善点等	学校関係者評価委員より	
「志をもち しなやかに たくましく生 き抜く生徒の 育成」を目指 す教育活動の 推進	“ことば”と“そ うい(「相違」「総 意」「創意」) ”を大切にす る学校 (1) 一人一人の 特性に応じたイ ンクルーシブ 教育の充実と組 織的な教育支援 の展開 (2) 学びを深め る対話「Nスタ イル」活用によ る新学習指導要 領具現に向けた 授業改善 (3) コミュニティ ・スクールを基 盤としたなか いずみ学府小 中一貫教育の推 進 (4) 保護者、地 域への情報発信 と、地域の教育 力を生かした教 育活動の推進	1	学校教育目標「志をもち しなやかに たくましく生き抜く生徒の育成」を意識して教育活動に取り組んでいる。(教師)	A	分析の数値は左からH30,2学期→R1,2学期→R2,2学期 または、R2,2学期の数値 目指す子どもの姿や教育内容の理解 分析項目5 保護者 88%→83%→80% 学校で目指している子どもの姿や教育内容について、多くの保護者が理解していると回答している。コロナ禍で学校を公開する機会は激減しているが、今後も学校・学年・学級だより、ホームページ等を有効活用しながら、学校の教育活動の情報を保護者の方や地域の方に広く伝えていきたい。 個に応じた支援と「確かな学力」が身に付く授業の実践 分析項目6 保護者 94%→90%→89% 項目7 生徒 95%→92%→93% 項目8 生徒 89%→91%→87% 項目9 教師 94%→96%→99% 学習の基本3項目を意識した授業の実践は進んでいる。コロナ禍の中、前年度からの授業の進度調整を行いつつ、新学習指導要領完全実施に向けて、どの教科においても「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善に取り組んできている。 「あいさつ」 分析項目10 教師 83%→79%→93% 生徒 92%→92%→93% 保護者 87%→88%→83% あいさつに関しては、評価が高い。生徒会は毎週火曜日に昇降口であいさつ運動を実施している。PTAのあいさつ運動は、コロナの影響で2学期のみの実施であったが、協力に感謝したい。朝だけでなく、廊下ですれ違う際の「こんにちは」の挨拶が自然にできる生徒がほとんどである。今後も気持ちの良いあいさつを心掛け、ともに笑顔が溢れる学校を目指していきたい。	学校関係者評価委員より
		2	生徒が自己の生き方や進路について、保護者とじっくり話し合う機会をもつよう働きかけている。(教師)	A		
		3	“ことば”と“そうい(「相違」「総意」「創意」)”を大切に する学校づくりを行っている。(教師)	A		
		4	目指す資質・能力である「共生」「自律」「自立」を 育成している。(教師)	A		
		5	学校が目指そうとしている子どもの姿や教育内容につ いて知っている。(保護者)	A		
		6	教師は、子どものことについての相談に適切に応じて いる。(保護者)	A		
		7	先生は分かりやすく教えてくれる。(生徒)	A		
		8	学んでいることが自分の力として身についている。 (生徒)	A		
		9	学習の基本3項目(2分前着席、授業に集中、予習・ 復習)を意識して、「確かな学力」が身に付く授業を実 践している。(教師)	A		
		10	進んで気持ちの良いあいさつをしている。(生徒、保 護者、教師)	A		
		11	小中一貫教育で取り組んでいる内容を知っている。 (保護者)	B		
		12	学校は、保護者や地域の方の協力を得て教育活動をす ずめている。(保護者)	A		

				H30	R1	R2			
自律	自ら考え、判断し行動する力	・進んで先生に聞いたり自分で調べたりする (85%)	13	生徒	82.8	81.7	79.4	B	きめ細やかな指導・支援・相談について、生徒、保護者の評価は高いが、生徒が進んで聞いたり、調べたりする項目の評価は数値目標に届いていない。今後、生徒一人一人の学習状況を的確に把握し、さらにそれぞれに適切な助言をしていきたい。また、授業の中で、友達との学び合いを通して思考を深めたり、表現したりする場面を意図的に設定し、主体的な取り組みを促す指導を継続していきたい。そして、教師の個に応じた指導が子どもの姿で保護者に伝わるような取り組みも進めていきたい。
				保護者	71.1	69	61		
				教師	80	58.3	75.9		
		・授業でじっくり考えたり表現したりする (90%)	14	生徒	87.5	87	86.4	B	
				保護者	未実施	未実施	未実施		
				教師	83.4	87.5	82.8		
共生	多様な考えを尊重し合い、協力して課題を解決する力	・相手の気持ちを考えた温かな言葉遣いをしている (95%)	15	生徒	92.3	92.2	90.8	A	あたたかな言葉遣いに関しては、教師、生徒の評価が高い。学校生活において、思いやりのある言葉かけ、接し方ができるやさしい生徒が多い。道徳科の授業を中心に、思いやりの心や礼儀、公共の精神、集団生活の充実など、人としての生き方を深めることを意識できる教育活動を今後もすすめていく。また、教師も人権意識を高め、生徒一人一人に対してあたたかい言葉かけ、心に深く寄り添った支援を継続し、信頼関係を深めていきたい。
				保護者	89.9	91	87.1		
				教師	86.7	91.6	96.7		
		・お互いにルールを守り協力する雰囲気がある (95%)	16	生徒	92.1	92.7	90.3	A	
				保護者	92.8	93.2	85.5		
				教師	100	95.8	100		
自立	目標に向かって、粘り強く挑戦し続ける力	・目標に向かって粘り強く取り組んでいる (80%)	17	生徒	未実施	未実施	89	A	学校では、学級における居場所づくり、絆づくりのために、学級内で一人一人に役割を持たせている。この役割を確実に果たすことで、生徒の自己有用感が高まり、学級での存在感も持てるようになっていく。今後も役割を果たせた生徒を大いに認め励ましていきたい。合唱コンクールを通して、歌うことの楽しさを味わっている生徒が多い。体育大会もコロナ禍の中で、様々な制約がある中であつたが、素晴らしい姿を見ることができ、生徒の満足度も高かった。生徒と教師が目標を共有することで、生徒は部活動に全力で取り組み充実した活動ができた。
				保護者	未実施	未実施	72.8		
				教師	未実施	未実施	86.7		
		・学校行事や部活動に集中して取り組んでいる (95%)	18	生徒	96.7	96.2	96.3	A	
				保護者	73.4	77.1	94.6		
				教師	90	91.7	96.7		

学校関係者評価を受けてのまとめ

保護者や地域の皆様と目指す子どもの姿や教育内容・重点を共通理解するために、情報発信を工夫し、地域の子どもを共に育てるコミュニティースクール体制の安定に努めます。ICTを効果的に活用した授業や個に応じた支援等、「確かな学力」が身につく「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善をすすめます。生徒の実態を的確に把握し、きめ細やかな、あたたかい指導、支援、相談に努めます。

一人1台PC時代、新しいものを取り入れ、授業がさらに良い方向に向かうことを期待したい。

調べものをするときは、ネットを使う。PCに向かう時間が家でも長い。ネットでは大人も子どもも同じルールである。どういうルールを教えていく必要があるのか。

1年生は集中した雰囲気の中で授業を受けていた。窓を開け換気をし、マスクをしながらの授業で…。

コロナ禍の中、1年間どうなることか心配であつたが、今となってはうまく治まった。生徒がよく頑張った。様々な変更がある度に、学校が相談をかけてくれ、きめ細やかな段取りと計画で乗り越えることができた。先生方に感謝したい。

一年間の取り組みの中で、なかなか接点がもてなかった。見守りの必要な家庭もある。新しい民生児童委員が学校へ来ることができなかつた。学校での子どもの様子を見る機会がもてたことを期待したい。

6月スタートの新年度となったが、再開後の生活に子どもたちはすぐになれていた。柔軟性に感心した。